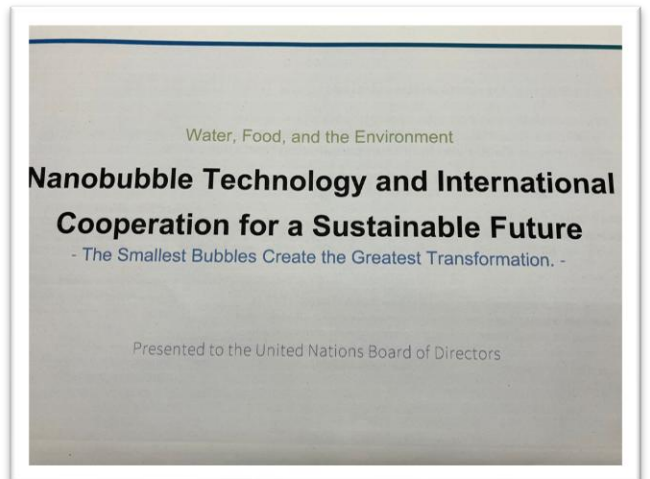


# 国連 参加報告

～ナノバブル技術と持続可能な未来への国際協力・最小の気泡が、最大の変革を生む～



社長、↑国連UNフラッグの前



ナノバブル ↑発表資料

株式会社エーワンテクニカ 代表取締役：金田英一 が国連会議に参加してきましたので、お伝え致します。

今日、我々は、全地球的な環境問題、開発途上国を中心とした貧困や難民問題、先進国における少子・高齢社会そして精神的貧困など、人間の尊厳が危うくされ、弱められている時代に生きています。地球上の全ての人が、‘人として生きる事が当たり前になる事’のために自分が出来ることは何なのか、その課題に対する提案を持って国連へ足を運びました。その一部を報告いたします。

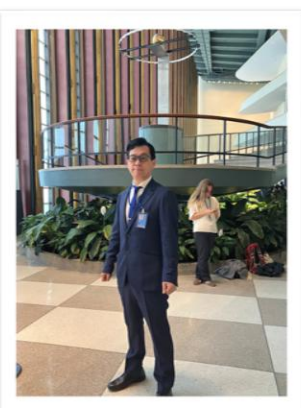
2026年 3月7日～14日 国連・ニューヨーク

私たち日本からの参加者はウクライナ代表団と合流し、交流。長引く紛争下でのウクライナの現状やウクライナ支援、特に子どもたちの支援について話しました。

3月でしたが、ニューヨークは、とても寒く、雪がちらちら降っていました。



↑社長、国連『SDG6・水』のパネル前で。



↑胸に国連入室証



↑記念のエコバッグをいただきました。

# エーワンテクニカ：金田英一「ナノバブル技術」をプレゼンテーション

## ～日本発の技術の世界に向けて、ウクライナに向けて発信！～

国連ビル内への入室はセキュリティーが大変厳しく、空港以上に警備が慎重に行われていました。

本部会場には世界中から大変多くの方々が参加されていて、大変活気がありました。

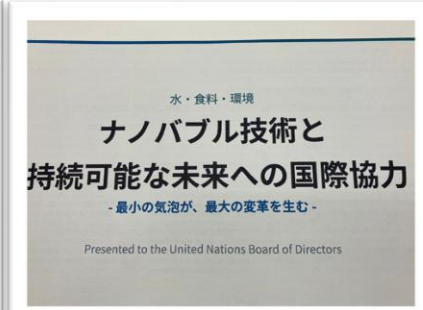
私たちは一致団結して、持続可能な開発目標（SDGs）の約束を果たさねばなりません。2030年はすぐ目の前です。私、エーワンテクニカの「ナノバブル技術」で世界の環境問題の一部を良い方向へ変えていくことが出来る、そして、ウクライナ支援として出来る事をプレゼンテーションしました。

ナノバブル技術は水、食料、環境（SDG 6・2・13と12）の課題を最も早期に解決できる技術であります。ウクライナで深刻な土壌、農業、水、等の問題に大きく貢献出来る事を伝え、大変活発な意見交換が出来ました。

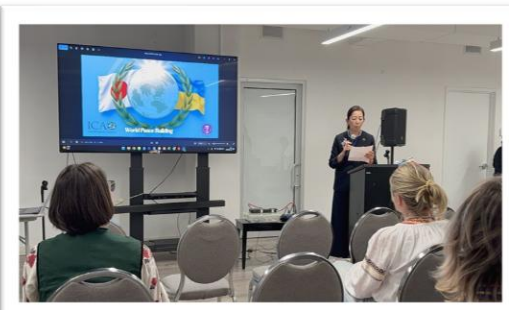


↑社長のスピーチの様子。

エーワンテクニカ、ナノバブル技術を世界に向けて発信しました。



↑発表資料 日本語版



↑金田裕子も、ほんの少しだけ、会社の事と、福祉事業の事をスピーチしました。

### < 追記 >

還暦夫婦のため、ニューヨークまでの長～い飛行機は体に辛く、、

空に向かって建設が進むマンハッタンの超高層ビル群に驚き、

ニューヨークの物価の高さに唖然！とした、1週間の出張でした。

（ まとめた人：金田裕子 ）

